

柏葉脳神経外科病院広報誌

特定医療法人
柏葉脳神経外科病院

札幌市豊平区月寒東1条15丁目7-20
TEL.011-851-2333

かしわば

vol.45
2016.8

第6回

Clinical Skill Up Meeting

特集号

地域全体での医療スキルの向上を目指して

診断に苦慮した難治性てんかんのCJD症例

柏葉脳神経外科病院 脳神経外科 医長 丸一 勝彦

脳神経外科病院で脳波を読む

柏葉脳神経外科病院 顧問 精神科 掛川 紀夫

特別講演

てんかんの病態・治療

順天堂大学医学部 脳神経外科 菅野 秀宣准教授





第6回

Clinical Skill Up Meeting

地域全体での医療スキルの向上を目指して

2016年6月3日（金）18:30～20:00 札幌パークホテル

柏葉脳神経外科病院では患者さんとの問診で症状を丹念に聞き取り、精度の高いCT検査やMRI検査を行っていますが、診断が難しい症例や珍しい経過を示す症例もあります。専門医としてのスキルを上げるためには、稀な症例について多数で議論し、疾患への理解をより深めることが重要です。当院では毎年1回、地域の医療機関へ呼びかけ、専門家を迎えて最先端の知識を得る講演会や症例検討会などを行っています。



座長
柏葉脳神経外科病院
副院長・脳卒中診療部長
吉本 哲之

柏葉脳神経外科病院 理事長・院長 金子 貞男

～さらなる地域連携を～



最善の医療を提供するために私たちは学び続けます

てんかんの患者さんに対して社会的な問題も出ています。臨床においての正しい対応を学ぶことが、医療者としてのスキルアップになると思います。今後もスキルアップミーティングをはじめ、研修会や臨床の場で学び続けます。

脳神経外科領域において診断・治療が難渋な症例がありましたら、当院地域医療連携室までご相談ください。

柏葉脳神経外科病院 地域医療連携室 ☎011-851-2370 / FAX 011-851-9466

脳神経外科
講演

診断に苦慮した難治性てんかんのCJD症例

演者 柏葉脳神経外科病院 脳神経外科 医長 丸一 勝彦

【認定医・専門医】
日本脳神経外科学会専門医、
日本脳卒中学会専門医、
医学博士

非典型的な経過をたどる症例に新たな視点を

難治性のてんかん発作があり、MRI画像などから脳梗塞と判断し治療を進めていた患者さんで、非典型的な経過をたどり、最終確定診断がCJD（クロイツフェルト・ヤコブ病）となった症例がありました。

今回の症例に似た経過は脳神経外科の臨床では多々あり、MRI画像所見のみでは確定診断に至らないことも少なくありません。しか

し、画像所見や臨床症状などが非典型的な経過をたどる場合には、異なる視点からの検査追加や経過観察が大事であると改めて感じています。原因不明のCJDの発症は年間100万人に1人程度とされていますが、私たちの方針に新たな視点を加え、今後の治療を続けていきたいと思っています。

精神科
講演

脳神経外科病院で脳波を読む

演者 柏葉脳神経外科病院 顧問 精神科 掛川 紀夫

水面上が臨床症状だとすると水面上には何も無い
～てんかん重積の症例から見てきたこと

「潜在性発作が続く場合」や「非けいれん性の発作状態」は、てんかん発作の重積状態です。重積とは、車でいうと坂道を下っている時にブレーキが故障するような大変な事態。2度目のトラブルも起きるし、致命的にもなります。

てんかん重積は1分以上もの発作時脳波が

何回も続き、非けいれん性の場合は数時間続く意識障害です。発作後に画像所見と同側に徐波が認められることがあります。診療では「脳波だけの発作」や「左右差がある脳波」を見落とさないようにしたいと思っています。

【認定医・専門医】
精神保健指定医、
精神科専門医、
日本てんかん学会認定医、
医学博士

特別講演

てんかんの病態・治療

演者 順天堂大学 医学部
脳神経外科
菅野 秀宣准教授ビデオ脳波モニタリングで
診断・治療を迅速に

脳神経外科医は救急の現場で、発作の種類を見極め迅速に治療を選択し、発作を止めなければなりません。確定診断にはビデオ脳波モニタリングが必要です。

これまでは2回目の発作で治療を開始するのが一般的でしたが、今はILAE（国際抗てんかん連盟）が初発発作からの積極的な治療を推奨しています。

コメンテーター

北海道大学大学院 医学研究科
脳神経外科学分野
寶金 清博 教授

からだ★ミニコラム

意外と知らない 体温計のおはなし

正しく使って健康チェック



昔は水銀式体温計が一般的でしたが、最近は短時間で測ることができる電子式が多く普及しています。「熱っぽい」「風邪を引いたかも」という場合や、日常の体調管理でお世話になっていますが、正しい使い方を知っていますか？

20～30秒で測れる秘密

水銀式で体温を測るには、わきに挟んで5～10分じっとしている必要がありました。しかし、電子式の中には20～30秒で測ることができるものがあります。これは「予測式」という種類で、短時間の温度上昇から、体温計に内蔵されたコンピュータが「体温の予測値」を計算しているのです。

37℃は発熱？ 平熱？

体温計が37℃以上を示すと「熱がある」と思っていますか？ 人間の健康時の体温は36℃後半～37℃くらい。平熱には個人差があるので、37℃を超

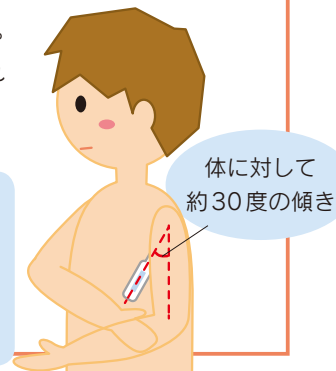
えたからといって一概に「熱が出ている」とは言えません。大切なのは、自分の平熱との比較です。健康な時に検温し記録しておきましょう。

正しい測り方（わきの場合）

正しい体温を測るためには、わきのくぼみの中心に体温計を当てるのが大切です。中心から外れると、低く計測される場合があります。

ポイント

- 下から押し上げるように当てる
- わきをしっかりとしめ、手のひらを上に向ける
- 反対の手で肘を押さえる



私たちの考えていること

柏葉脳神経外科病院

病院の理念 私たちは、安全で安心いただける医療のサービスに徹し、患者さんの幸せを守ります

病院の基本方針

- 患者さんにとって、思いやりのある最善の医療に全力をつくします
- 医師とスタッフによる説明と、患者さんの理解と選択に基づく医療を実践します
- 患者さんの意志とプライバシーを尊重します
- 医療従事者として、常に、豊かな人間性と技術の向上をめざします
- 救命・救急医療から心と体のリハビリテーションまで、高度な脳の専門病院をめざします
- 地域医療機関との強力な連携をはかり、よりダイナミックな医療のサービスを提供します

患者さんの権利

- 患者さんは、平等で、安全な医療を受ける権利があります
- 自分の診療にかかわる人々の氏名と役割を知る権利があります
- 自分の病気・治療・予後について知る権利があります
- 治療について承諾・拒否する権利があります
- 自分の診療について、他医師の意見（セカンドオピニオン）を得る権利があります
- 自分のプライバシーを守る権利があります
- 公的援助、地域サービスに関する情報を知る権利があります
- 病院職員に対して、意見・苦情を伝える権利があります

柏葉脳神経外科病院 診療科目 脳神経外科・神経内科・精神科・循環器内科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科

外来診療の受付時間

診療科目	平日	
	脳神経外科	8:40～12:00 13:30～16:30
神経内科 [予約制]	平日	8:40～12:00
	土 (隔週)	8:40～12:00
精神科 [予約制]	火～木	8:40～12:00 13:30～16:30
	月	8:40～11:30
循環器内科	火・水・金	8:40～12:00
	木	13:30～16:30
	土	

脳ドック [予約制]

火・木曜 ①13:30 ②14:00

専門外来 [予約制]

- 脳動脈瘤外来…火曜 午後
- もの忘れ外来…電話でご相談ください
- 脊髄外来 (しびれ・痛み)…木曜 午後・金曜 午前
- 睡眠時無呼吸外来…電話でご相談ください

予約電話番号 011-859-5636 (月～金)

救急指定病院 救急患者さんは、診療日・診察時間を問わず24時間診察いたします

